

窓口支援事例 【大阪府 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社B2ファクトリー

所在地	大阪府豊中市		
ホームページ URL	http://www.b2factory.jp/		
設立年	2014年	業種	サービス業
従業員数	10人	資本金	300万円

企業概要

B2ファクトリーは、プロゴルファーやトップアスリートの専属コーチとして実績を積んだ二人のトレーナーが、その培った経験と信用を生かして、一般ユーザーの方々へも活動の場を広めたく、開設したジムです。基本ポリシーは、個々のお客様に最も適したトレーニングとケアの提供であり、それは最大公約数的なベターなコーチングではなく、ユーザーが求めるベストなプログラムをマンツーマンで提供、対応することです。

肉体改造はもちろん、超高齢社会の大きな課題である、心身の健康増進にも寄与していきたいと思っています。

自社の強み

当社は、ゴルフ、野球、ボクシング、相撲、モデル等あらゆる分野のトッププロをクライアントとして、ストレングス＆コンディショニングトレーニングを指導しています。

その豊富な経験とノウハウで、トップアスリートを目指す人からスポーツ障害治療、健康促進目的の人まで、個々に応じたパーソナルプログラムを作成、マンツーマンで指導することで、効率的に高い効果を得ることが可能です。

一押し商品

当社が開発したマンポテチューブは、多くのプロゴルファーの勝利に貢献してきたスイング強化のトレーニング用器具を一般向けに改良した、スイングポテンシャルを120%引き出すトレーニング器具です。

普段の練習ではもちろん、ラウンド前のウォーミングアップにも使用すれば、特にその効果を発揮します。

一流プロゴルファーの練習に実際に活用してきたものをオリジナルモデルとして発売しており、飛距離を伸ばしたいゴルファー向けツールの決定版です。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社から、開発したトレーニング器具「マンポテチューブ」について何らかの権利化ができないかとの相談があったのがきっかけです。ホームページやスポーツ新聞には、同事務所のトレーニングについて「神トレ」として取り上げられており、知る人ぞ知る存在の事務所でした。そこで、知名度もあるため、しっかり知財の権利化をしないと模倣される危険性も高いと考え、早急に知財支援を行いました。

最初の相談概要

まず、同事務所を訪れ、開発現場やトレーニング器具の特徴のヒアリングを行いました。同器具の開発段階を踏まえ、会社名やすぐに展開しているブランド名の商標権取得を優先して弁理士とともに支援を行いました。

その後の相談概要

同器具の開発が終わった段階で、知財専門家（弁理士）とともに訪問し、同器具の特徴を模倣されないよう特許、意匠、商標の観点から知財戦略を駆使して支援致しました。

その結果、無事権利化（意匠登録第1565528号、商標登録第5889331号、商標登録第5889332号）できました。

窓口を活用して変わったところ

同社は、マスコミをうまく使って知名度を上げておられ、その知名度を活用した商品開発に熱心な企業でした。今まで知財に関して、個人的には関心はあるものの、企業として権利取得活用にまでは至りませんでしたが、今回の支援を機に、事業に知財を活用するようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

悩む前に、相談。もちろん基本的なことは勉強・整理してからですが、「餅は餅屋」であらゆる疑問に懇切に、丁寧に対応していただけます。IT社会を迎え、知的財産権は今後、企業価値の大きな判断材料のひとつになってくると思います。興味があれば、ぜひ力になってもらいましょう！

窓口担当者から一言 （氏名：大澤 真一）



同社はマスコミを上手に利用したブランディング戦略に長けており、「神トレーニング」で有名で、様々なプロアスリートを復活させたトレーニングジムです。

有名になればなるほど模倣の対象になりやすいので、知財に関係がないと思わず、特に屋号等を商標登録していない企業様は、当窓口にご相談下さい。